

3. 目標事業量設定事業の進捗状況

事業名	計画スタート時 (平成17年4月)	平成17年度末	平成18年度末	平成21年度末までの 目標事業量
つどいの広場	0箇所	3箇所	5箇所	10箇所
学童保育事業	1,824人	1,824人	1,850人	2,082人
病後児保育事業 (施設型)	0箇所・0人	0箇所・0人	0箇所・0人	1箇所・10人
一時保育事業 1	6箇所・60人	6箇所・60人	11箇所・110人	24箇所・120人
特定保育事業 1				
地域子育て支援センター事業	4箇所	4箇所	6箇所	5箇所
保育所による地域子育て支援事業	28箇所	30箇所	30箇所	34箇所
通常保育事業 2	2,520人	2,520人	2,595人	3,098人
延長保育事業 3	21箇所・532人	31箇所・832人	31箇所・817人	35箇所・1,090人

1 「一時保育事業」と「特定保育事業」は一体化

2 定員数

3 公立保育所:登録児童について、定員90人以上は平均的な3歳児の配置基準の15人、90人未満は10人として、スポットは一律で3人として積算

・前延長と後延長の保育を実施しているため各定数を計上

民間保育所:各園に照会して受け入れ可能児童数を確認

・前延長と後延長の保育を実施している場合は各定数を計上

4 事業別進捗状況

(1) 基本目標1 子どもと親の豊かな健康づくりの推進

1-(1) 子どもと親の健康の確保・増進

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額	
1 母子保健地域組織育成事業	拡充	0	0	0	0	A	0	0	総合保健センター
2 事故防止対策	継続	88	77	35	47	A	41	41	総合保健センター
3 乳幼児健診	拡充	23,428	23,541	23,585	23,764	A	24,698	24,698	総合保健センター
4 乳幼児相談	拡充	1,286	1,000	1,197	1,124	A	1,270	1,270	総合保健センター
5 母乳育児相談	継続	126	126	210	210	A	210	210	総合保健センター
6 電話による健康相談	拡充	894	406	504	504	A	504	504	総合保健センター
7 2歳児親子歯科健診	継続	1,362	1,432	1,601	1,507	A	1,530	1,530	総合保健センター
8 フッ化物塗布・洗口事業	継続	0	0	0	0	A	0	0	総合保健センター
9 予防接種の接種率向上	拡充	0	0	0	0	A	0	0	総合保健センター

10	保健推進員による妊婦訪問	拡充	訪問を希望する妊婦に対し、保健推進員が訪問を実施した。 ・訪問件数 438件 ・依頼件数 673件	880	742	訪問を希望する妊婦に対し、保健推進員が訪問を実施した。 ・訪問件数 525件 ・依頼件数 742件	880	911	B	保健推進員の訪問は、実績はあるものの、訪問を希望する妊婦の最近の傾向として、保健推進員ではなく、専門職の助産師、保健師等による訪問も希望している。このため、今後、訪問のあり方について、検討していく必要があると思われる。	880	総合保健センター
11	新生児、産婦訪問指導	拡充	出産後2か月以内の第1子及び第2子以降で希望のあった母子に対し、訪問指導を実施した。 ・新生児 1,057人 ・産婦 1,036人	4,211	3,663	出産後2か月以内の第1子及び第2子以降で希望のあった母子に対し、訪問指導を実施した。 ・新生児 1,190人 ・産婦 1,173人	4,833	4,681	A	川越市の新生児、産婦訪問指導については、専門の助産師による木目が細かい指導を実施しており、訪問実績も十分である。なお、今後の課題としては、専門職である助産師を更に確保していく。	4,689	総合保健センター
12	乳幼児訪問指導	拡充	健診・相談・関係機関の依頼等により、保健師が訪問指導を実施した。 ・乳児 57件 ・幼児 83件	0	0	健診・相談・関係機関の依頼等により、保健師が訪問指導を実施した。 ・乳児 116件 ・幼児 74件	0	0	A	支援の必要な乳幼児に対して、保健師による訪問指導が実施されており、訪問指導後についても、適切なフォローを実施している。今後も継続して実施していく。	0	総合保健センター
13	不妊に対する支援	継続	特定不妊治療費の助成 ・交付件数 68件 不妊専門相談センター ・相談件数 17件	8,495	7,261	特定不妊治療費の助成 ・交付件数 81件 不妊専門相談センター ・相談件数 28件	8,480	8,466	A	特定不妊治療費の助成件数も不妊専門相談センターの相談件数についても、前年実績を上回った利用がなされている。今後も支援を継続していく。	14,480	総合保健センター
14	妊婦健康診査	継続	・妊婦一般健康診査定 1回目 2,775人 ・妊婦一般健康診査定 2回目 2,575人 ・H B s抗原検査 2,768人 ・超音波検査 301人 ・HIV抗体検査 2,715人	48,771	46,242	・妊婦一般健康診査定 1回目 2,701人 ・妊婦一般健康診査定 2回目 2,634人 ・H B s抗原検査 2,688人 ・超音波検査 376人 ・HIV抗体検査 2,605人	47,917	46,127	A	妊婦健診については、高い受診率を維持しており、健診の目的を十分果たすことができた。なお、今後の課題として、公費負担の妊婦健診の回数を5回に増やすことや健診項目も増やすことを検討する。	47,830	総合保健センター
15	母親学級・両親学級	拡充	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及、不安の解消及び仲間づくりの場を提供することを目的に、マタニティスクールとプレパパママスクールを開催した。 ・マタニティスクール 延実施回数 18回 参加人数 297人 ・プレ・パパママスクール 実施回数 10回 参加人数 292人	521	519	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及、不安の解消及び仲間づくりの場を提供することを目的に、マタニティスクールとプレパパママスクールを開催した。 ・マタニティスクール 延実施回数 18回 参加人数 297人 ・プレ・パパママスクール 実施回数 10回 参加人数 348人	469	450	A	母親学級・両親学級については、妊婦やその夫に、妊娠、出産、育児等について学習していただくことにより、積極的に出産に臨んでもらうことができた。今後の課題としては、実施日を夏休みや冬休みに設定するなど、参加しやすいよう工夫することである。	551	総合保健センター
16	マタニティ体操	継続	妊娠6か月以上の妊婦を対象に、出産準備が積極的にできるよう体操や呼吸法を指導した。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 252人	262	115	妊娠6か月以上の妊婦を対象に、出産準備が積極的にできるよう体操や呼吸法を指導した。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 163人	171	131	A	マタニティ体操については、妊婦の方に、体操や呼吸法を学んでもらうことにより、出産準備を積極的に行っていた。今後の課題として、内容を更に充実させていく。	166	総合保健センター
17	マタニティクッキング	継続	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、妊娠期及びその後の食生活をよりよくすることを目的として、調理実習・指導を行った。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 110人	146	112	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、妊娠期及びその後の食生活をよりよくすることを目的として、調理実習・指導を行った。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 96人	159	114	A	マタニティクッキングについては、妊婦の方に、調理実習を通して栄養に関する知識を学んでもらうことにより、妊娠期及びその後の食生活の改善が図られた。今後の課題として、内容を更に充実させていく。	120	総合保健センター
18	妊婦歯科健診	継続	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、妊娠中に起こりやすい歯科疾患の予防のため健診と歯みがき指導を実施した。 ・実施回数 12回 ・参加人数 153人	518	588	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、妊娠中に起こりやすい歯科疾患の予防のため健診と歯みがき指導を実施した。 ・実施回数 12回 ・参加人数 169人	602	613	A	健診を実施したことにより、受診者は、口腔衛生の意識が高まり、むし歯の減少に努めるようになった。今後も継続して実施していく。	612	総合保健センター

19	母子栄養食品の支給	継続	低所得世帯の妊産婦・乳児に対し粉ミルクを支給し、併せて健康状態、育児状況の把握・指導を行った。 ・妊産婦 2人 ・乳児 8人	224	149	低所得世帯の妊産婦・乳児に対し粉ミルクを支給し、併せて健康状態、育児状況の把握・指導を行った。 ・妊産婦 0人 ・乳児 9人	232	120	A	低所得世帯の妊産婦・乳児に対し粉ミルクの支給や健康状態・育児状況の把握及び指導をすることにより、母体の健康保持、胎児及び出産後の乳児の健全な成長の支援ができた。今後の課題としては、更に充実した制度としていく。	245	総合保健センター
20	のびのび子育て広場	継続	のびのび子育て広場を開催し、生活習慣の確立と事故防止の啓発を実施。 ・実施回数 6回 ・参加人数(組) 160組	-	-	終了	-	-	E		-	総合保健センター
21	離乳食教室	継続	離乳食の初期、中期に教室を開始し、離乳食についての指導を実施した。 ・初期 実施回数 12回 参加人数 228組 ・中期 実施回数 12回 参加人数 172組	187	191	離乳食の初期、中期に教室を開始し、離乳食についての指導を実施した。 ・初期 実施回数 12回 参加人数 242組 ・中期 実施回数 12回 参加人数 166組	241	159	A	離乳食教室については、離乳食の初期又は中期の児とその保護者の方に、調理実習を通して離乳食に関する知識を学んでいただくことにより、離乳食に関する不安の解消が図られた。今後の課題として、内容を更に充実させていく。	195	総合保健センター
22	おやつと歯みがき教室	継続	2歳6か月から4歳児とその保護者を対象におやつづくりを行うことで、おやつのあり方の興味を高めると同時に、口腔内の手入れの仕方について指導を行った。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 104組	112	104	2歳6か月から4歳児とその保護者を対象におやつづくりを行うことで、おやつのあり方の興味を高めると同時に、口腔内の手入れの仕方について指導を行った。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 131組	157	127	A	おやつ歯みがき教室については、2歳6か月児から4歳児とその保護者の方に、食への興味を高めると同時に口腔内の手入れについて体験していただくことにより、幼児期における食習慣の重要性を認識していただいた。今後の課題として、内容を更に充実させていく。	152	総合保健センター
23	育児関連講座等への協力	拡充	市内の公民館、児童館、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 27回 ・参加者延べ953人	60	28	市内の公民館、児童館、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 33回 ・参加人数延べ1,228人	78	42	A	市内の公民館、児童館、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等が実施できた。今後は、講座開催の機会を増やしていけるよう、公民館等関係機関と連携を図るとともに、子育てサークル等にも周知していく。	35	総合保健センター
24	未熟児・長期療養児訪問指導	拡充	健診・相談・関係機関からの依頼等により、訪問が必要とされる場合に保健師等が訪問指導を実施した。 ・要指導者への訪問指導 336人	89	0	健診・相談・関係機関からの依頼等により、訪問が必要とされる場合に保健師等が訪問指導を実施した。 ・要指導者への訪問指導 402人	201	52	A	健診・相談・関係機関からの依頼等により、保健師等による訪問指導を実施しており、訪問指導後も適切なフォローを実施している。なお、今後の課題として、処遇困難事例に対する検討会等を開催し、担当者の資質の向上を図っていく。	183	総合保健センター
25	ひよこ教室・ひよこサロン	継続	ひよこ教室(未熟児教室) ・実施回数 2回・延参加人数 15組 ひよこサロン(ちいさく生まれた子どもを持つ親の会) ・実施回数12回・延参加人数 33組	105	32	ひよこ教室(未熟児教室) ・実施回数 2回・延参加人数 34組 ひよこサロン(ちいさく生まれた子どもを持つ親の会) ・実施回数12回・延参加人数 66組	138	83	A	ひよこ教室、ひよこサロンの開催により、乳幼児の成長の確認、育児支援及び育児不安の解消、親同士の交流の場を提供できた。今後も継続して実施していく。	108	総合保健センター
26	ダウン症児を持つ親の会	継続	いもっこの会の開催 ・実施回数 11回 ・延参加人数 166組	69	60	いもっこの会の開催 ・実施回数 11回 ・延参加人数 113組	83	10	A	いもっこの会の開催により、ダウン症児の保護者に対し、情報交換や講演会を通じ、互いに助け合える支援の場を提供できた。今後も継続して実施していく。	128	総合保健センター
27	食物アレルギーの子どもをもつ親の会	継続	ポッポサークルの開催 ・実施回数 12回 ・延参加人数 99組	0	0	ポッポサークルの開催 ・実施回数 12回 ・延参加人数 78組	69	33	A	ポッポサークルの開催により、食物アレルギーの子どもをもつ保護者に対し、随時情報提供、育児不安の解消等の支援の場を提供できた。今後も継続して実施していく。	108	総合保健センター

28	すくすくクリニック	継続	未熟児及び健診等で発育・発達に遅れがみられる概ね1歳までの子供を対象に診察・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 65人	489	449	未熟児及び健診等で発育・発達に遅れがみられる概ね1歳までの子供を対象に診察・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 67人	493	465	A	未熟児及び発育・発達に遅れがみられる概ね1歳までの子どもを対象に、診察・相談を実施することにより、成長・発達を正しく評価し、健やかな育成と育児についての支援ができた。今後は、相談体制を充実させ、更に受診しやすい制度にしていく。	487	総合保健センター
29	発育・発達クリニック	拡充	乳幼児健診断、相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に、診察・発達テスト・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 92人	969	957	乳幼児健診断、相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に、診察・発達テスト・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 80人	973	957	A	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児等を対象に、診察・相談・発達テストを実施することにより、成長・発達を正しく評価し、健やかな育成と育児についての支援ができた。今後は、相談体制を充実させ、更に受診しやすい制度にしていく。	1135	総合保健センター
30	こどもの心の健康相談	拡充	乳幼児健診断、相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に、診察・発達テスト・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 54人	960	943	乳幼児健診断、相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に、診察・発達テスト・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 66人	973	963	A	心の健康に心配がある乳幼児等を対象に、診察・相談・発達テストを実施することにより、成長・発達を正しく評価し、健やかな育成と育児についての支援ができた。今後は、相談体制を充実させ、更に受診しやすい制度にしていく。	1135	総合保健センター
31	多胎児をもつ親の会	継続	ハッピーエンジェルへの支援 ・実施回数 24回 ・延参加人数 406組	84	0	ハッピーエンジェルへの支援 ・実施回数 24回 ・延参加人数 356組	63	0	A	多胎児をもつ親の会に対し、より専門的な育児の相談・保護者同士の情報交換の場を提供することにより、多胎児の育児をより楽しくプラス思考で行えるような支援ができた。今後も継続して実施していく。	75	総合保健センター
32	乳幼児医療費の助成 (平成18年度以降こども医療費の助成)	拡充	こどもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給した。 6月診療分から入院を15歳の年度末までに拡大し、自己負担金を廃止した。 (通院は従来どおり、小学校就学前まで) 支給件数 282,288件 支給額 551,921千円	647,328	587,367	こどもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給した。 支給件数 293,053件 支給額 572,249千円	651,833	606,668	A	こどもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給する。 支給予定件数 303,000件 支給予定額 585,000千円	621,703	医療助成課

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

1-(2) 「食育」の推進

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		所管課	
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額		
1 幼稚園・保育所等における指導	拡充	0	0	0	0	A	0	0	保育課	
2 小・中学校への指導	継続	小学校2年生に対する食に関する指導 196回 3,050人 小・中学校への食に関する指導 22回 各種広報誌の発行 6回	0	0	小学校2年生に対する食に関する指導 196回 2,935人 小・中学校への食に関する指導 22回 各種広報誌の発行 6回	0	0	小学校2年生に対する食に関する指導 202回 2,925人 小・中学校への食に関する指導 食に関する指導の全体計画の作成 各種広報誌の発行 6回	0	給食センター
		児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるための指導を行った。	0	0	児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるための指導を行った。	0	0	引き続き、児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるための指導を行う。	0	教育指導課
		学校栄養職員の研修会を実施した。 1回 17名	0	0	学校栄養職員の研修会を実施した。 1回 17名	0	0	学校栄養職員の研修会を実施する。 1回	0	学校管理課
3 地域の特色を活かした「食育」の実践活動	継続	0	0	0	0	A	0	0	給食センター	
4 情報発信活動	拡充	0	0	0	0	A	0	0	総合保健センター	
5 乳幼児健診・相談時の栄養相談	拡充	-	-	-	-	A	-	-	総合保健センター	
6 食生活改善推進員協議会の活動支援	拡充	0	0	0	0	A	0	0	総合保健センター	
7 地域活動栄養士会との協働	拡充	0	0	45	14	B	0	0	総合保健センター	
8 マタニティクッキング・離乳食教室・おやつと歯みがき教室・2歳児親子歯科健診での展開	拡充	-	-	-	-	A	-	-	総合保健センター	

1-(3) 思春期保健対策の充実

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		所管課		
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額			
1 薬物乱用防止啓発	継続	・保健所窓口や健康まつりにおいて、各種のリーフレット等を配布し啓発を図った。 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン(川越駅周辺)に参画した。 ・小中学校等の開催する薬物乱用防止講演会のため講師を派遣した。派遣回数4回 受講者数1,168人	165	24	・保健所窓口や健康まつりにおいて、各種のリーフレット等を配布し啓発を図った。 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン(北朝霞駅周辺)に参画した。 ・小中学校等の開催する薬物乱用防止講演会のため講師を派遣した。派遣回数5回 受講者数1,395人	126	95	A	・保健所窓口や健康まつりにおいて、各種のリーフレット等を配布し啓発を行う予定。 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン(所沢駅周辺)に参画する予定。 ・小中学校等の開催する薬物乱用防止講演会のため講師を派遣する予定。	71	保健総務課
		児童生徒の薬物乱用を未然に防止するため、児童生徒に薬物に対する正しい知識や乱用の恐ろしさ等について理解させ、薬物乱用をさせない資質や能力を育成する指導を行った。 薬物乱用防止教室の開催:57校(全校)実施	0	0	児童生徒の薬物乱用を未然に防止するため、児童生徒に薬物に対する正しい知識や乱用の恐ろしさ等について理解させ、薬物乱用をさせない資質や能力を育成する指導を行った。 薬物乱用防止教室の開催:57校(全校)実施	0	0	A	引き続き、児童生徒の薬物乱用を未然に防止するため、児童生徒に薬物に対する正しい知識や乱用の恐ろしさ等について理解させ、薬物乱用をさせない資質や能力を育成する指導を行う。 薬物乱用防止教室の開催:57校(全校)実施予定 保護者の参加を促す。	0	教育指導課
2 思春期保健相談	新規	・思春期の体の相談室 (5回/年実施 相談者15名) ・思春期保健講座 (5回/年開催 参加者265名)	165	165	・思春期の体の相談室 (12回/年実施 相談者67名) ・思春期保健講座 (3回/年開催 参加者103名)	396	396	B	・思春期の体の相談室 (12回/年実施予定) ・高校への出前講座・相談 ・思春期保健講座	396	保健予防課
		学校等から随時、電話等の思春期相談を受け付けた。	141	141	学校等から随時、電話等の思春期相談を受け付けた。	165	91			0	165
		学校等から随時、電話等の思春期相談を受け付けた。	0	0	学校等から随時、電話等の思春期相談を受け付けた。	0	0	B	学校等から随時、電話等により思春期相談を実施することができた。今後の課題として、啓発活動を強化していく。	0	総合保健センター
3 子育て体験学習	新規	未実施	0	0	未実施	0	0	D	事業実施に向け、関係機関と調整していく。	0	総合保健センター
4 中学生の健康教育	継続	学校からの依頼により、中学生を対象に、健康教育を随時実施した。	0	0	学校からの依頼により、中学生を対象に、健康教育を随時実施した。	0	0	B	学校からの依頼による、中学生を対象とする健康教育を随時実施した。今後の課題として、啓発活動を強化していく。	0	総合保健センター
5 飲酒・喫煙防止対策	拡充	未成年の飲酒・喫煙防止について、広報・ポスター等により啓発活動を実施した。	0	0	未成年の飲酒・喫煙防止について、広報・ポスター等により啓発活動を実施した。	0	0	A	未成年の飲酒・喫煙防止について、広報・ポスター等により啓発活動を実施した。今後の課題として、啓発活動を強化していく。	0	総合保健センター
6 性感染症対策	継続	・性感染症検査・相談 (月3回 受検者182名)	0	0	・性感染症検査・相談及び即日検査 (月3回 受検者390名)	0	0	A	・性感染症検査・相談及び即日検査 (月3回実施予定)	0	保健予防課
		・エイズを含む性感染症予防啓発事業	0	0	・エイズ関連講座 (1回/年開催 参加者28名) ・エイズを含む性感染症予防啓発事業	33,000	33,000		・エイズ関連講座 (年1回開催予定) ・エイズを含む性感染症予防啓発事業	33,000	0

1 - (4) 小児医療の充実

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度未 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額	
1 小児救急医療対策事業	継続	0	0	0	0	A	・当該事業については現在、左記の理由により市が主体となって事業を実施していない。 ・小児初期救急医療体制病院で対応可能な患者についても、第二次救急医療体制病院である埼玉医科大学総合医療センターへ駆けつけるケースが多く見られ、第二次救急病院としての機能が阻害されている状況にある。 ・事業目標:拠点病院の存続(1病院)	0	保健医療推進課
2 休日急患・小児夜間診療事業	継続	62,539	59,630	45,755	44,794	A	小児の初期救急医療を確保するため、本年度も休日及び夜間に小児科の診療を行う。	46,311	診療所
3 未熟児養育医療給付	継続	24,618	21,109	21,778	21,499	A	養育のため、指定養育医療機関に入院した未熟児に対し、その養育に必要な医療給付を行った。 ・受給者数 97人	27,152	総合保健センター
4 身体障害児育成医療給付等	継続	9,036	9,081	8,876	5,617	A	健全育成・福祉向上を図るため、身体に障害のある児童に対して、必要な医療の給付を行った。 ・受給者数 102人	5,434	総合保健センター
5 結核児童療育医療給付	継続	483	427	483	143	A	健全育成・福祉向上を図るため、結核児童に対して、必要な医療の給付を行った。 ・受給者数 2人	128	総合保健センター
6 小児慢性特定疾患医療給付	継続	49,610	37,109	49,548	37,769	A	小児の慢性疾患のうち、国が指定した特定疾患について、必要な医療給付を行った。 ・受給者数 233人	42,740	総合保健センター

(2)基本目標2 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進

2-(1) 次代の親の育成

〔網掛け〕 重点施策

〔進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 〔目標事業量に対する実績値〕	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 〔目標事業量に対する実績値〕	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 〔平成21年度目標事業量〕	予算額	所管課
1 男女平等教育研修会	継続	教職員を対象に、男女共同参画社会の実現についての講演会を開催した。 教師用リーフレット「男女平等教育の推進」を作成し、啓発に努めた。	180	167	教職員を対象に、男女共同参画社会の実現についての講演会を開催した。 教師用リーフレット「男女平等教育の推進」を作成し、啓発に努めた。	170	71	A	教職員を対象に、男女共同参画社会の実現についての講演会を開催する。 教師用リーフレット「男女平等教育の推進」を作成し、啓発に努める。	103	教育指導課
2 中学生社会体験事業	継続	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、豊かな感性や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。 ・参加生徒数 2,849人 ・協力事業所 803社	1,320	1,320	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。 ・参加生徒数 2,833人 ・協力事業所 784社	1,320	1,320	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育む。 ・参加生徒数 2,899名(予定)	1,320	教育指導課
3 子育て体験学習 (1-(3)-3の再掲)	新規	未実施	-	-	未実施	-	-	D	事業実施に向け、関係機関と調整していく。	-	総合保健センター

2-(2) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

〔網掛け〕 重点施策

〔進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 〔目標事業量に対する実績値〕	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 〔目標事業量に対する実績値〕	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 〔平成21年度目標事業量〕	予算額	所管課
1 小・中学校への指導 (1-(2)-2の再掲)	継続	小学校2年生に対する食に関する指導 196回 3,050人 小・中学校への食に関する指導 22回 各種広報誌の発行 6回	-	-	小学校2年生に対する食に関する指導 196回 2,935人 小・中学校への食に関する指導 22回 各種広報誌の発行 6回	-	-	A	小学校2年生に対する食に関する指導 202回 2,925人 小・中学校への食に関する指導 食に関する指導の全体計画の作成 各種広報誌の発行 6回	-	学校管理課
		児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるための指導を行った。	-	-	児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるための指導を行った。	-	-	A	引き続き、児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるための指導を行う。	-	教育指導課
		小学校2年生に対する食に関する指導 196回 3,050人 小・中学校への食に関する指導 22回 各種広報誌の発行 6回	-	-	小学校2年生に対する食に関する指導 196回 2,935人 小・中学校への食に関する指導 22回 各種広報誌の発行 6回	-	-	A	小学校2年生に対する食に関する指導 202回 2,925人 小・中学校への食に関する指導 食に関する指導の全体計画の作成 各種広報誌の発行 6回	-	給食センター
2 子ども情報提供事業	継続	川越市子ども情報誌「小江戸探検隊」を年4回発行。市立小中学校の児童生徒の全家庭に配布。	1,080	774	川越市子ども情報誌「小江戸探検隊」を年4回発行。市立小中学校の児童生徒の全家庭に配布。	1,080	756	A	川越市子ども情報誌「小江戸探検隊」を年4回発行。市立小中学校の児童生徒の全家庭に配布。	900	生涯学習課
3 臨床心理士配置事業	新規	教育総合相談センター(リバーラ)に1人配置し、学校やリバーラにおける相談活動の指導、助言を行った。 ・相談件数 219件	1,395	1,364	教育総合相談センター(リバーラ)に1人配置し、学校やリバーラにおける相談活動の指導、助言を行った。 ・相談件数 275件	1,395	1,395	A	教育総合相談センター(リバーラ)に1人配置し、学校やリバーラにおける相談活動の指導、助言を行う。	1,372	教育研究所
4 さわやか相談員配置事業	継続	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施した。 ・中学校22校に11人配置 ・相談者延べ人数 8,042人	9,010	8,973	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施した。 ・中学校11校に11人配置 ・相談者延べ人数 8,046人	9,911	9,805	A	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施する。 ・中学校22校に22人配置	25,185	教育研究所

5	学校カウンセリング研修事業	継続	カウンセリングに必要な理論や技法を身につけるために、教職員やさわやか相談員への研修を実施した。 ・学校教育相談コンサルテーション研修会...2回 ・学校カウンセリング初級研修会...3回 同中級...9回 ・特色あるさわやか相談室づくり研修会...3回 ・担任のための不登校児童生徒への支援研修会...3回	185	127	教職員やさわやか相談員への研修を実施した。 ・学校教育相談コンサルテーション研修会...2回 ・学校カウンセリング初級研修会...3回 同中級...9回 ・特色あるさわやか相談室づくり研修会...3回 ・担任のための不登校児童生徒への支援研修会...3回	175	151	A	教職員や川越市さわやか相談員への研修を実施する。 ・学校教育相談コンサルテーション研修会...2回 ・学校カウンセリング初級研修会...3回 同中級...9回 ・特色あるさわやか相談室づくり研修会...3回	175	教育研究所
6	適応指導教室	継続	教育総合相談センターにおいて、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。 ・通室 小学生2人、中学生10人	1,140	1,008	教育総合相談センターにおいて、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。 ・通室 中学生7人	1,080	2,104	A	教育総合相談センターにおいて、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施する。 ・通室 中学生7人	2,135	教育研究所
7	総合的な学習の時間の支援	継続	学校への訪問指導	0	0	学校への訪問指導	0	0	A	学校への訪問指導	0	教育指導課
		未実施		0	0	未実施	0	0	D	未実施	0	教育研究所
8	川越市教職員研修事業	拡充	川越市立学校(小・中・高・養護)の教職員を対象とした研修を実施した。 研修講座数 81 研修日数 216日 参加者数 2,397人 参加延べ人数 5,643人 主な内容は、年次研修・職能別研修・重点研修・奨励研修など	6,837	3,827	川越市立学校(小・中・高・養護)の教職員を対象とした研修を実施した。 研修講座数 82 研修日数 213日 参加者数 2,259人 参加延べ人数 5,502人 主な内容は、年次研修・職能別研修・重点研修・奨励研修など	5,696	4,755	A	川越市立学校(小・中・高・養護)の教職員を対象とした研修を実施する。研修内容の工夫改善を図り、一部の研修にコースによる選択制を導入した 研修講座数 85 研修日数 277日 参加予定数 2,611人 参加延べ人数 5,768人 主な内容は、年次研修・職能別研修・重点研修・奨励研修など	6,388	教育研究所
9	指導方法の工夫改善、少人数学級	拡充	市内全小中学校に、県費により指導法改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導・チームティーチングを実施 ・加配教員数 ...小学校48人、中学校34人 少人数学級については学校管理課	0	0	市内全小中学校に、県費により指導法改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導・チームティーチングを実施 ・加配教員数 ...小学校48人、中学校33人	0	0	A	市内全小中学校に、県費により指導法改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導・チームティーチングを実施 ・加配教員数 ...小学校49人、中学校34人	0	教育指導課
			対象学年における1学級あたりの人数が多い学校において、市独自の少人数学級編制を行い、1学級増になった学校に、市費採用の臨時講師を配置した。少人数学級のための臨時講師 5名	16,439	15,828	対象学年における1学級あたりの人数が多い学校において、市独自の少人数学級編制を行い、1学級増になった学校に、市費採用の臨時講師を配置した。少人数学級のための臨時講師 8名 32,098,000円	29,098	27,645	A	対象学年における1学級あたりの人数が多い学校において、市独自の少人数学級編制を行い、1学級増になった学校に、市費採用の臨時講師を配置する。少人数学級のための臨時講師 8名	31,129	学校管理課
10	教育副読本の整備	継続	小学校3,4年生の社会科の副読本を整備した。	4,899	4,437	小学校3,4年生の社会科の副読本を整備した。	4,898	4,048	A	小学校3,4年生の社会科の副読本を整備する。	4,696	教育指導課

11	中学校社会体験事業 (2-(1)-2の再掲)	継続	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、豊かな感性や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができ ・参加生徒数 2,849人 ・協力事業所 803社	-	-	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。 ・参加生徒数 2,833人 ・協力事業所 784社	-	-	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育む。 ・参加生徒数 2899名(予定)	-	教育指導課
12	国際理解教育	継続	小学校における総合的な学習の時間等の国際理解教育、英語活動の充実のための研修会、研究資料の作成を行った。 ・国際理解教育研修会2回 参加者87人 ・国際理解教育推進委員会 4回 参加者36人	30	30	小学校における総合的な学習の時間等の国際理解教育、英語活動の充実のための研修会、研究資料の作成を行った。 ・国際理解教育研修会2回 参加者88人 ・国際理解教育推進委員会 4回 参加者32人	30	30	A	小学校における総合的な学習の時間等の国際理解教育、英語活動の充実のための研修会を実施する。 ・国際理解教育研修会2回 参加者88人	20	教育研究所
13	情報教育	継続	情報教育について研修会を実施するとともに、コンピュータ等情報教育機器の整備、研究資料の作成を行った。 小学校33校 843台 中学校22校 946台 更新 中学校10校各41台(410台) パソコン初級講座他3研修会 9回	109,270	93,296	情報教育について研修会を実施するとともに、コンピュータ等情報教育機器の整備、研究資料の作成を行った。 小学校33校 843台 中学校22校 946台 更新 小学校6校各21台 パソコン初級講座他3研修会 9回	115,482	84,754	B	情報教育について研修会を実施するとともに、コンピュータ等情報教育機器の整備、研究資料の作成を行う。 小学校33校 843台 中学校22校 946台 小学校25校のコンピュータ室、小中学校55校職員室用(各校1台)更新 やさしいパソコン操作研修会他、4研修会	136,152	教育研究所
14	土曜体験教室	継続	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供した。 22回 延べ1,426人	60	60	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供した。 21回 延べ1,232人	60	36	A	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供する。	60	博物館
15	子ども博物館教室	継続	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めた。 3回 延べ142人	54	36	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めた。 3回 延べ98人	54	30	A	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深める。	12	博物館
16	夏休み子ども体験	継続	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供した。 3回 延べ211人	12	12	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供した。 4回 延べ232人	12	21	A	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供する。	12	博物館
17	昔の遊び	継続	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供した。 2回 延べ255人	0	0	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供した。 2回 延べ225人	0	0	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供する。	0	博物館
18	ミュージアムシアター	継続	映画を通して、日本の歴史・文化に親しみ、平和について考える機会とした。 2回 延べ89人	0	0	予定なし	0	0	D	予定なし	0	博物館
19	人権教育	継続	人権作文集「あけぼの」を3,200部発行。いのちこころを大切に作る絵画展を3日間開催。	496	273	人権作文集「あけぼの」を3,200部発行。いのちこころを大切に作る絵画展を3日間開催。	496	272	A	人権作文集「あけぼの」を3,200部発行予定。 いのちこころを大切に作る絵画展を3日間開催予定。	521	生涯学習課
20	人権啓発事業	継続	人権意識の高揚と差別意識や偏見の解消に向けた啓発をさまざまな機会を利用して行った。	0	0	人権意識の高揚と差別意識や偏見の解消に向けた啓発をさまざまな機会を利用して行った。	0	0	A	人権意識の高揚と差別意識や偏見の解消に向けた啓発をさまざまな機会を利用して行う。	0	人権推進課

21	学校部活動補助事業	継続	部活動加入率は93.9%。学年や学級を離れての自主的な活動は、仲間とのふれあいを通して協調性や責任感等の育成でき、教育的な意義があった。	3,200	3,180	部活動に93.7%の生徒が加入(昨年度比+0.8%)。また、部活動数は、326部(昨年度比+9部)であった。	3,200	3,186	A	部活動は生徒の健全な発育や体力向上の視点から教育的な意義は大変大きい。外部指導者や地域との連携を図るとともに生徒や学校の要望に応えられる部活動運営に努める。	3,200	教育指導課
22	公立学校施設の整備	継続	学校施設の耐震性能の向上を図るとともに、施設・整備の等の改善改修を行った。	1,215,829	660,377	学校施設の耐震性能の向上を図るとともに、施設・整備の等の改善改修を行った。	2,099,260	1,617,599	C	学校施設の耐震性能の向上を図るとともに、施設・整備の等の改善改修を行う。	655,037	教育財務課
23	幼児教育振興プログラムの策定	新規	策定に向けて調査・研究を行った。	0	0	プログラムの原案作成及び検討を行った	0	0	B	策定を完了する。	0	教育指導課
24	育児関連講座	継続	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供した。 21講座 87回 参加者延べ2,356人	575	1,325	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供した。 20講座 76回 参加者延べ1,334人	678	514	B	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供する。	653	中央公民館
25	幼保小連絡懇談会の実施	継続	「様々な遊びや活動をとおして、基礎的な体力をどう身に付けさせていくか。」をテーマに幼稚園・保育園・小学校の教職員の参加のもと開催した。 内容 レポート提案 グループ協議等 参加者 237名	30	26	「様々な遊びや活動をとおして、基礎的な体力をどう身に付けさせていくか。」をテーマに幼稚園・保育園・小学校の教職員の参加のもと開催した。 内容 レポート提案 グループ協議等 参加者 235名	30	25	A	「様々な遊びや活動をとおして、どのように子どもの人間関係をつくっていくか。」をテーマに幼稚園・保育園・小学校の教職員の参加のもと開催する。	30	教育指導課
26	川越市子ども読書活動推進計画の策定・推進	新規	教育委員会で報告、本年度から実施を開始した。	0	0	計画に基づき、各施策を実施した。	0	0	B	関係諸機関及び関係者が協力して読書活動を推進する体制を整備する。	0	教育指導課
27	学校図書館図書の本の整備	拡充	「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努めた。 ・達成率 小学校56.4% 中学校67.3%	28,711	28,483	「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努めた。 ・達成率 小学校59.3% 中学校70.2%	29,857	29,788	C	引き続き「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努める。	30,739	教育指導課
28	小江戸読書マラソン事業	継続	小学校全児童に対して読書マラソンカードを配布し、30冊以上読んだ児童に認定証を渡した。 ・参加児童数18,061名 認定数8,061名	445	139	小学校全児童に対して読書マラソンカードを配布し、30冊以上読んだ児童に認定証を渡した。 ・参加児童数18,260名 認定数8,470名	440	139	A	小学校全児童に対して読書マラソンカードを配布し、30冊以上読んだ児童に認定証を渡す。	325	教育指導課
29	小江戸中学生読書手帳事業	継続	中学校1年生に対して、推薦図書を紹介した手帳を配布し、読書活動の啓発を実施した。 ・活用している9校 ・あまり活用していない13校	217,000	127,875	中学校1年生に対して、推薦図書を紹介した手帳を配布し、読書活動の啓発を実施した。 ・活用している15校 ・あまり活用していない7校	171	128	B	中学校1年生に対して、推薦図書を紹介した手帳を配布し、読書活動の啓発を実施した。活用をさらに進めるとともに、様式や実施方法について改善案を検討する。	140	教育指導課

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

2-(3) 家庭や地域の教育力の向上

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額		
1 教育相談・就学相談事業	継続	1,972	1,964	2,292	2,194	A	子どもの教育に関すること、学校生活、発達や就学に関する相談に応じる。 ・川越市就学支援委員会(25名予定)	2,412	教育研究所	
2 不登校児童生徒保護者セミナー	継続	0	0	0	0	A	不登校児童生徒の保護者を対象に、不登校理解のためのセミナーを実施し、相談に応じる。 ・3回実施予定	0	教育研究所	

3	学習相談	継続	高階北学習情報館に学習相談員を配置し学習相談を行った。	1,165	1,033	高階北学習情報館に学習相談員を配置し学習相談を行った。	1,149	912	B	高階北学習情報館に学習相談員を配置し学習相談を行う。	1,374	生涯学習課
4	家庭教育学級	継続	保護者に対して家庭教育に関する学習の機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託した。 ・55校PTA	2,200	2,200	保護者に対して家庭教育に関する学習の機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託した。 ・54校PTA	2,160	2,160	A	保護者に対して家庭教育に関する学習の機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託する。 ・54校PTA	2,160	生涯学習課
5	家庭教育講座	拡充	家庭教育に関する講演会や学習会を実施した。 23講座 104回 参加者延べ2,374人	1,876	1,395	家庭教育に関する講演会や学習会を実施した。 28講座 114回 参加者延べ2,434人	1,600	1,553	A	家庭教育に関する講演会や学習会を実施する。	1,595	中央公民館
6	総合型地域スポーツクラブ	拡充	地域住民が主体的、自主的に運営する総合型地域スポーツクラブの設置・育成に努めた。育成では、9つの教室や大会を開催した。 教室等参加者合計約200名	350	350	地域住民が主体的、自主的に運営する総合型地域スポーツクラブの設置・育成に努めた。育成では、10の教室や大会を開催した。 教室等参加者合計約250名	300	300	B	地域住民が主体的、自主的に運営できるよう人的・物的な支援に努める。新たに1箇所設置できるよう準備を進める。	300	市民スポーツ課
7	スポーツ少年団	継続	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催した。 参加者数合計 3,454名	500	500	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催した。 参加者数合計 3,390名	600	600	A	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催する。	700	市民スポーツ課
8	学校体育施設開放事業	継続	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小中学校及び中学校の体育施設を住民に開放した。学校体育施設開放参加人数273,468名。霞北プール開放参加人数3,930名。学校プール開放参加人数216名。	13,215	13,215	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小中学校及び中学校の体育施設を住民に開放した。学校体育施設開放参加人数232,440名。霞北プール開放参加人数3,130名。学校プール開放参加人数219名。	12,576	12,576	A	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小中学校及び中学校の体育施設を住民に開放する。	12,433	市民スポーツ課
9	人材バンク	新規	子どもサポート推進事業の取組の一環として、モデル4地区に地域の人材バンクを設置する。	子どもサポート推進事業予算の一部		子どもサポート推進事業の取組の一環として、市内14地区ごとに地域の人材バンクを設置する。一部地区では活用も開始。	子どもサポート推進事業予算の一部		C	子どもサポート推進事業の取組の一環として、市内14地区ごとに地域の人材バンクを設置する。地域の人材をどう発掘していくか。またどう活かしていくか。	子どもサポート推進事業予算の一部	生涯学習課
10	学生ボランティアの活用	新規	市内の2つの大学と連携して小中学生向けの講座を実施。実施校の学生にボランティアとして参加してもらう。	200	80	市内の3つの大学と連携して小中学生向けの講座を実施。実施校の学生にボランティアとして参加してもらう。また一部地区の子どもサポート事業にも参加してもらう。	200	150	B	市内の4つの大学と連携して小中学生向けの講座を実施。実施校の学生にボランティアとして参加してもらう。その他サポート事業へも参加してもらう。	200	生涯学習課
11	出前講座	新規	PTA家庭教育学級や公民館事業において人権教育の講座を実施する際には、生涯学習課人権教育担当の職員を講師として派遣	0	0	PTA家庭教育学級や公民館事業において人権教育の講座を実施する際には、生涯学習課人権教育担当の職員を講師として派遣	0	0	B	PTA家庭教育学級や公民館事業において人権教育の講座を実施する際には、生涯学習課人権教育担当の職員を講師として派遣	0	生涯学習課
12	エコチャレンジファミリー事業	継続	・67家族がエコチャレンジファミリー認定 ・3種類の全コースを修了した7家族をゴールドエコチャレンジファミリーに認定 ・小学生向けに「省エネワークブック」作成	126	197	・20家族がエコチャレンジファミリー認定 ・ゴールドエコチャレンジファミリー0件	72	84	A	引き続き電力量を測る機器を貸し出すことを通じて省エネの取組を市域に広げる。 課題 ・申込者の安定確保 ・省エネワークブック活用者の確保 ・参加者の追跡調査	67	環境政策課
13	市民環境調査	継続	「川越の樹めぐり」として、講師による巨樹・古木にまつわる歴史等の説明や、樹高の測定を実演した。 【1回実施 参加者数12人】	140	17	「親子で湧水探訪」として、講師指導のもと湧水の水質調査を行った。 【1回実施 参加者数6人】	120	71	A	「レモンの雨がふってくる(酸性雨調査)」を実施予定。	115	環境政策課
14	星空観察の集い	継続	児童センターこどもの城にて、夏期と冬期に実施した。 ・夏期 参加者数49人 ・冬期 参加者数19人	53	52	児童センターこどもの城にて、夏期と冬期に実施した。 ・夏期 参加者数49人 ・冬期 参加者数43人	53	33	A	児童センターこどもの城にて、夏期と冬期に実施予定。	53	環境政策課

15	省エネ・新エネフェアin産博	継続	・エコチャレンジファミリー認定事業の紹介 ・川越市の新エネルギー関連施策の紹介 のべ1,500名以上の参加	0	0	・エコチャレンジファミリー認定事業の紹介 ・川越市の新エネルギー関連施策の紹介 ・低公害車の展示 のべ623名の参加	0	0	A	引き続き環境問題への啓発効果が高い展示をおこなう 課題 ・参加企業数の確保 ・集客力の高い展示内容の考案	0	環境政策課
16	環境ふれあい教室(水生生物調	継続	水生生物の生息状況を調べて、川の水質を知ることにより、水辺への親しみや身近な環境問題に関心を高めてもらうため、水生生物調査を実施した。 ・環境ふれあい教室 1回14人	97	17	水生生物の生息状況を調べて、川の水質を知ることにより、水辺への親しみや身近な環境問題に関心を高めてもらうため、水生生物調査を実施した。 ・環境ふれあい教室 1回20人	97	81	A	水生生物の生息状況を調べて、川の水質を知ることにより、水辺への親しみや身近な環境問題に関心を高めてもらう機会をつくる。 ・環境ふれあい教室 1回30人予定	105	環境保全課
17	夏休み親子リサイクル体験ツアー	継続	市内の小学生の親子を対象に参加者を募集し、借り上げバスにてごみ処理施設の見学及びごみとして排出された廃材を利用して工作教室を実施した。 参加者 8月16日 22人 8月17日 23人	99	71	市内の小学生の親子を対象に参加者を募集し、借り上げバスにてごみ処理施設の見学及びごみとして排出された廃材を利用して工作教室を実施した。 参加者 8月22日 24人 8月23日 22人	198	56	A	ごみ処理施設の状況を親子で見学し、リサイクル工作を体験することにより、ごみの減量・資源化に対する理解を高めてもらう。	180	資源循環推進課
18	市民の森	継続	(1)維持管理 清掃(週1回)、除草業務委託(年2回)、剪定、枯損木処理(随時) (2)施設改修 第1号施設修繕工事	8,616	8,382	(1)維持管理 清掃(週1回)、除草業務委託(年2回)、剪定、枯損木処理(随時) (2)施設改修 第6号施設修繕工事	8,272	8,161	A	(1)維持管理 清掃(週1回)、除草業務委託(年2回)、剪定、枯損木処理(随時) (2)施設改修 第9号施設修繕工事	8,088	環境政策課
19	こどもエコクラブ	継続	会員募集のほか、市主催のイベントを実施した。登録数(20クラブ、423会員) ・研修会(海洋環境保全教室) 参加者数26人 ・交流会 参加者数16人	276	182	会員募集のほか、市主催のイベントを実施した。登録数(16クラブ、314会員) ・研修会 参加者数17人 ・交流会 参加者数28人 ・発表会 参加2クラブ、4人	210	131	B	会員募集のほか、市主催のイベントを実施予定。 イベントへの参加クラブ数を増やしていくことが課題。	187	環境政策課
20	エコチャレンジスクール	継続	養護学校及び市立川越高等学校が加わり、市内全57校がエコチャレンジスクールに認定された。 ・環境教育研修会 1回 参加者46名 ・環境教育資料冊子(エコチャレンジスクール認定事業平成16年度導入校実践報告書) ・リーフレット作成	210	208	第1期の取組を終了した小・中38校が再申請を行い、エコチャレンジスクールに認定された。 ・環境教育研修会 1回 参加者49名 ・環境教育資料冊子(エコチャレンジスクール認定事業平成17・18年度実践校報告書(平成17年度認定校)) ・リーフレット作成	180	73	A	第2期の取組を終了した小・中17校と第1期の取組を終了した養護学校及び市立川越高等学校の19校が再申請をし、今後審査を行う。 ・環境教育研修会1回 参加者予定56名 ・環境教育資料冊子 ・リーフレット作成	229	教育研究所